

平成20年第5回12月定例会 - 12月08日-02号

○議長（大西洋平） それでは、再開いたします。

次に、3番桑野和夫議員、どうぞ。

はい、どうぞ。

◆3番（桑野和夫） それでは、3番桑野和夫でございますが、通告に従いまして質問をさせていただきます。

今回、私は浅口市工業団地について、県財政構造改革プランによる浅口市への影響とその対応について、子供の医療費の無料化の年齢拡大について、それからすべての小・中学校の普通教室に扇風機の設置について、以上4点にわたって質問をさせていただきます。明快な答弁をお願いをいたします。

まず、浅口市の工業団地であります。

アメリカ発の金融危機は、世界経済の大混乱を引き起こし、日本経済にも深刻な影響を与えています。民間信用調査会社の帝国データバンクが今月3日に発表しました11月の景気動向調査によりますと、企業の直近の景況感を示す景気動向指数は、前月比2ポイント減の24.5と9カ月連続で低下をし、過去最低を記録をしています。業界別では、10の業界すべてが悪化、外需の減速や内需の低迷で製造業が過去最低になったほか、小売業、建設業、不動産業も過去最低を更新をしています。

さて、浅口市が進めようとしています工業団地であります。こうした経済状況の中で本当に企業が来るのかどうか不安の声を市民の皆さんからよく聞くようになりました。

そこで、まずお聞きをしますが、執行部として今の深刻な経済状況の中、工業団地構想の見通しについてどうとらえているのかお聞きをします。

次に、県財政構造改革プランによる浅口市への影響とその対応について質問をします。

これにつきましては、午前中に中西議員が質問をされ、執行部も答弁をされていますので、ここでは私の見解を述べるだけにし、答弁については必要ありません。

まず第一に、岡山県を初めとして各自治体の財政状況は、まさに大変な状況になってきています。この財政危機を生み出した最大の原因は、三位一体改革の名による地方交付税の大幅カットに見られるように、地方を国の悪政の犠牲にするやり方にあると私は思います。また、この県のプランによって、補助金など少なからず浅口市でも影響を受けますが、これについては午前中の答弁にもありますように市民の犠牲にならない方向で対応してほしいというふうに思います。

また、この問題での3点目ですが、県は財政再建という名目で職員や教員について全国で最悪の賃金カットを実施するようではありますが、市長が答弁されたように人件費に手をつけるのは最後の手段という答弁がありましたが、私もこれには同感であります。このような手法は、浅口市でとるべきではないというふうに考えています。賃金カットは、職員と教員とその家族に犠牲を強いるだけでなく、地域の労働者の生活悪化に連動し、地

域の景気にも影響すると思います。財政危機を乗り切るためには、徹底的に無駄を省き、不要不急そして公共性のない事業は直ちにやめるべきだというふうに思います。

次に、子供の医療費の無料化の年齢拡大についてであります。これも午前中、中西議員が質問されましたが、重ねて私からも必要性について触れさせていただきます。

不安定雇用、庶民増税、社会保障の切り捨てのもとで、子育ての経済的負担の軽減は切実な願いであります。親の経済的事情によって子供の命や健康が奪われるようなことがあってはなりません。先般、日本共産党市議団が行った市民アンケートでも、子育ての施策について何を望むかの問いには、多くの方が子供の医療費助成の拡充をと答えています。現在、病気のときはお金を心配しないで病院に連れていきたいという願いから始まった子供の医療費助成制度は、大きく広がっています。副市長が、中西議員の質問に近隣は進んでいないというふうな答弁がありましたが、これは極めて狭い範囲の近隣はそうかもしれませんが、岡山県の市町村の全体を見てみると、医療費の年齢拡大は大きな流れになってきています。ここにフリップを用意したので、御紹介をしたいと思います。

これが、子供の医療費の市町村別の集計であります。浅口市は現在、入院、通院とも10歳未満が対象であります。この中で黄色に塗っている部分が浅口市よりも年齢が高い市町村であります。中学3年までが備前市や美作市、和気町、新庄村、勝央町、奈義町、西粟倉村、久米南町、美咲町の9団体。それから、小学校6年生までが総社市、高梁市、新見市、真庭市、早島町、鏡野町の6団体であります。再度お尋ねしますが、浅口市でも当面小学校卒業まで年齢を拡大するべきだと思いますが、答弁を再度お願いをいたします。

最後、4点目ですが、すべての小・中学校の普通教室への扇風機の設置について質問をいたします。

この扇風機の設置につきましては、私は昨年12月の総務文教常任委員会で、またことしの9月の議会での一般質問で要望してまいりましたが、地球温暖化の影響により夏休みの前と後が30度を超える日が多くなり、熱中症や子供の健康面での影響が危惧をされています。そして、何よりも暑くて勉強できるどころじゃないというのが、子供たちの率直な声であります。9月の一般質問の答弁で、教育次長や教育長は、教室内の温度調査などで現状を把握した上で検討を進めると答弁をされていますが、温度調査の結果とその後どのような検討がされたのか、お伺いします。同時に、PTAや校長会からも要望が出されているように聞いていますが、どういった話し合いになっているのかお聞きをいたします。

以上、よろしく申し上げます。

○議長（大西洋平） それでは、執行部より答弁を求めます。

まず最初に、浅口市工業団地について、産業建設部長より答弁を求めます。

産業建設部長。

◎産業建設部長（流尾広秋） それでは、浅口市工業団地についてお答えをさせていただきます。

浅口市の工業団地は、企業の立地にこたえられるよう基本計画を初め、全体の各種調査、

測量を実施し、造成が可能な段階までの準備を進めているところであります。また、岡山県の先端的ものづくり集積団地構想の拠点として位置づけられており、浅口市においてもマイクロものづくり岡山工業団地準備会の立地を念頭に置いて、そのスケジュールに合わせて第1期計画といたしまして西中央地区の造成に向け、取り組んでいるところでございます。

工業団地整備事業の現在の状況でございますが、平成18年度より着手して、環境アセスメントにつきましては、今年度、騒音、振動等の生活環境系、動植物類等の自然環境系の現地調査を行っているところであり、さらに来年度におきましては、環境保全措置の検討、準備書、評価書の作成を行う予定としているところであります。そのほか、団地造成に必要な各種の測量調査でございますが、今年度におきましては埋蔵文化財の試掘確認調査、地質調査を実施しているところであります。地形測量、河川測量及び利水調査等の実施をまた予定をいたしているところであります。

平成21年度以降につきましては、造成の概略設計の策定、用地測量、補償調査等を用意しており、これら測量調査等が順調に進めばその後事業地内の用地買収を行い、平成22年度中には一部造成工事に着手する予定としているところでございます。しかし、御指摘のとおり、世界的な経済危機による企業への影響や、岡山県の財政危機宣言に伴います岡山県財政構造改革プランにおける、特に当市の工業団地計画との関連が大きい大規模工場立地促進補助金の2分の1カットや中小企業高度化資金の凍結が平成24年度まで実施されるといったことも聞いております。また、マイクロものづくり岡山工業団地準備会の協同組合への移行時期及び参加企業の決定状況、並びに県道南浦金光線整備の進捗状況等を注視しながら、できる限りリスクを回避しながら慎重に事業を進めてまいりたいと考えているところであります。具体的な第1期の造成規模等の決定につきましては、以上のような現況を見きわめながら、議会とも相談しながら今後判断をしてまいりたいと考えているところでございます。

以上でございます。

○議長（大西洋平） 続きまして、子供の医療費、乳児医療費の無料化についてを健康福祉部長より答弁を求めます。

健康福祉部長。

◎健康福祉部長（安田哲夫） それでは、子供の医療費の無料化を当面小学校卒業までに拡大をとということにつきまして答弁を申し上げたいと思います。

先ほど、中西議員の御質問に対して副市長が答弁いたしましたとおり、県の中北部においては浅口市よりも上回る給付を行っている団体もございますが、本市は県南では比較的高水準の医療費給付を実施しているというふうに考えております。国の交付税の大幅な削減とか補助金の削減、それから税の減収、本市の財政を取り巻く環境も大変厳しい状況であります。当面は、現在の給付水準を維持していきたいと考えております。今後、財政の状況、それから県とか他市町の動向も見ながら、先では見直しを検討してまいりたいとい

うふうに思います。

以上でございます。

○議長（大西洋平） 次に、すべての小・中学校の普通教室に扇風機の設置をについて、教育次長より答弁を求めます。

教育次長。

◎教育次長（柚木忠明） 浅口市立の小・中学校及び近隣自治体の状況につきましては、9月の定例会で答弁をさせていただいたとおりでございます。お話の中にありましたように、校長会及びPTAの方々からも要望書が提出されており、各学校の教室内温度の状況についても調査をしたところでございます。その内容につきましては、7月並びに9月の中旬ごろを対象にさせていただきました。そうした中におきまして、約30度前後から34度、5度、そういうふうな日にもよりますけれども、温度の調査ができたところがございます。そうした場所によっては、風通しも悪く、体温と同じぐらいまでの温度が上がる教室もございました。子供たちが大変暑い環境の中で勉強している状況にあるために、健康面や勉強への集中力などを考えますと、いろいろな配慮が必要ではなかろうかと思っております。今後におきまして、扇風機の設置について前向きに検討をさせていただきたいと思っておりますので、御理解をいただければと思います。

以上です。

○議長（大西洋平） 再質問ありますか。

はい、どうぞ。

◆3番（桑野和夫） まず、工業団地であります、ちょっと多少経済状況と市の工業団地との関係がどうとらえていっているのか、多少詳しくもう少し答弁をお願いしたいと思います。ナカシマプロペラや安田工業などマイクロものづくり岡山工業団地準備会が、浅口市の工業団地への進出を一つの候補にしているようでありますが、その後この準備会の動向や、あるいは浅口市とこの準備会との協議の状況はどうなっているのか、お聞きをします。それからまた、この準備会以外にも企業との話があるようでしたら、それも含めて状況を教えてほしいと思います。

それから、子供の医療費の問題であります、財政面の話がありましたが、こういう点で私が聞こうとしたのは、ことしの4月から国の制度改正で3歳児から小学校修業前までの医療費の自己負担割合が3割から2割に引き下げが行われています。これは当然10歳まで浅口市は市が補助してますから、市の負担も下がってくるというふうになります。前の委員会で執行部に試算をしてもらったところ、19年度に比べて20年度は約670万円この措置によって費用が減額できるというふうな話でありました。今10歳までありますが、学年が高くなればそう頻繁に病院に行く必要もありませんから、この削減できた670万円などを活用して、1歳でも2歳でも年齢拡大をお願いしたいというふうに思います。副市長が当面しないと答弁をされた中で、部長が年齢を引き上げるということは当然答えられないから、この点は市長に答弁をお願いいたします。

それから、扇風機でありますけども、新年度で設置をするおつもりがあるのかどうか。例えば、すべて設置ができなくても、温度が高い教室から順次していくということも検討できると思いますので、その辺どうなのか再度答弁をお願いします。

○議長（大西洋平） それでは最初に、浅口市工業団地について、産業建設部長より再度答弁を求めます。

産業建設部長。

◎産業建設部長（流尾広秋） それでは、マイクロものづくり岡山工業団地準備会につきまして説明をさせていただきます。

この準備会は、超精密生産技術分野のすぐれた技術力を有する中小企業等が、経営基盤の強化や工業立地環境の改善を図るために新たな工業団地を求めて集団化し、仮称ではありますが、マイクロものづくり岡山工業団地を整備することを目的に、現在ナカシマプロペラさんを初め11社で設立をいたしております。構成企業といたしましては、岡山県内外の関連中小企業で、岡山県産業振興財団を事務局といたしまして、高度化事業制度の活用、協同組合の設立、先進工業団地の視察など研修を行っております。

この準備会の現在の活動状況でございますが、今年度におきましては広島県など県外の企業に対しても準備会参加を打診していくことや、最終的な参加企業数につきましても来年度あたりには確定するように事務局から聞いております。準備会は、中小企業高度化資金の活用を念頭に置き、平成24年度の集団立地を目指しているところでございます。しかし、岡山県財政構造改革プランにおいてその時期が流動的なことも想定され、本市においては西中央地区の第1の立地企業群と想定して準備を進めていくところから、今後この準備会の活動状況及び方針等の動向が重要であると考えておりますので、引き続き例会等への積極的に参加を行いながら進めてまいりたいというふうに考えております。

以上でございます。

○議長（大西洋平） 続きまして、子供の医療費の無料化について、市長より答弁を求めます。

市長。

◎市長（田主智彦） この一覧表を拝見させていただいております。今子供は宝ですから、そういう意味では本当はもう中学3年まで、義務教育まで無料化すべきだと思いますが、今自治体が競争合戦になっているのはよくないと思います。お互いにお金もないのに、政策の違いといえばそうですが、私どもは特に福祉や教育、力入れているんですが、あつという間にたくさんの自治体に抜かれたということで、気持ちとすればもうこの一番高いところにまで合わせたいなという気持ちありますけれども、お金との相談になりますので、貴重な御意見を拝見いたしましたので、ここでよく考えさせていただきたいと思います。

○議長（大西洋平） 次に、すべての小・中学校の普通教室に扇風機の設置についてを教育長に答弁を求めます。

教育長。

◎教育長（工藤進） 扇風機の設置ということですが、特に子供たちは物すごく大きく育っていく時期にある子供たちなので、ただ学習活動に与える影響ばかりじゃなくて、成長というんでしょうか、心身の発達にも大きな影響のある年ごろの子供たちですから、大事にしてやらなくてはならないと。特に、教育環境の整備については、できるだけことをしてやる必要があるというふうに認識しております。

そういう点で、先ほど議員さんもお話くださったように教室の温度調べも各学校でやってもらいましたし、今学校へ調査を出しているのが特に必要な教室数、普通教室に限らず、特に温度が高くなるとか、風通しが悪いとか、日当たりがよ過ぎるとか、いろいろな条件がありますから、特に必要な教室はどれぐらいあるかなというような調査もさせてもらいながら、来年度の予算へ計上させてもらえたらということで取り組んでいっております。どういうところへ落ちつくかはまだわかりませんが、何らかの形で子供たちが本当に心を落ちつけて、存分な活躍をしてくれるように頑張っていきたいものだなというふうには思っております。

○議長（大西洋平） 再々質問ありますか。

はい、どうぞ。

◆3番（桑野和夫） まず、工業団地であります、先ほど部長の答弁の中に答弁漏れがあります。準備会以外との企業との話ができれば、報告をお願いします。なければいけない結構です。

工業団地の件で市長にお聞きをしますが、市民の不安は今の未曾有の景気悪化の中で、莫大な予算はつぎ込んだが、残ったのは借金と荒れ果てた土地、こういうようにならないかどうか非常に心配をされています。今後しっかり経済状況や企業の動向などを分析もしていただいて、場合によっては凍結を含む判断もしなければならぬときもあるとは思いますが、その辺どうなのか見解をお願いをいたします。

それから、扇風機の件であります、教育行政であります、予算を伴うことなので市長の見解をお願いをいたします。

○議長（大西洋平） それでは、浅口市工業団地について、産業建設部長より答弁漏れの答弁を求めます。

産業建設部長。

◎産業建設部長（流尾広秋） この準備会以外からの問い合わせとこういうことでございますが、問い合わせ等は幾らかはあるようでございます。確定したものはございません。

○議長（大西洋平） それでは続きまして、浅口市工業団地についてと、すべての小・中学校の普通教室に扇風機の設置についてを市長より答弁を求めます。

◎市長（田主智彦） 先ほど部長のほうから、造成が可能な段階までの準備をするというふうに答弁をいたしました。凍結もあり得るかという御質問であります、そりゃあもう十分あり得る話であります。

アメリカ発の金融危機は、それこそ今議員さんがおっしゃった未曾有のことでありまし

て、震度がはかれない、どのぐらいの大きさか震度をはかれない。アメリカを代表する金融、自動車、そのシティーコープ、そしてビッグスリーが倒産の縁に立たされている。想像を絶するのが現状であろうかと思えます。ですから、極端に言うと、アメリカ資本主義の終わりというふうなとらえ方さえできるわけでありまして、昔私なんか覚えていることでは、マルクスは資本主義はその欠陥ゆえに崩壊する、シュンペーターは資本主義はその成功ゆえに行き詰まる、こういう言葉がありました、まさにそれが現実になりつつあるような、本当に恐ろしい経済情勢になりつつある。ヨーロッパも尋常一応の手段では、これは挽回を図れないということで、58年ぶりに金利をああい金利にしてみたり、あるいは自動車一つとっても39年ぶりでしたか、3割近い販売不振になる、そういうことを見るにつけても本当にかつて経験したことの無い危機の到来だと思っております。

そういう中で、税金を投入して、禍根を残してもいけません、しかしまた虎穴に入らずんば虎子を得ずの言葉もありますし、浅口市として大きな収入源を得る一つのチャンスでもあるわけですから、その辺の兼ね合いをもう借金を残さないように、何かよい名案があればと探っていきたいと思えます。基本的には、将来の発展、あるいは雇用の確保というような面からぜひ成功させたいと思えますし、何が何でも借金はしないということも金科玉条にしたいというふうに思っております。

それから、扇風機の件であります、やるかやらないのを決めるのが私の仕事だと思えますので、これはやらせていただこうと思えます。ただ、方法論は教育委員会そして財政局、副市長を中心として、そこで経費をいかにかけずにどういう順序で、まず第1段階はこうすべきだろうというようなことは決めてもらおうと思っておりますが、実行はまずしていこうというふうに申し上げたいと思えます。

以上です。

○議長（大西洋平） はい。

◆3番（桑野和夫） ありがとうございます。

○議長（大西洋平） 御苦労さまでした。

以上で本日の日程を終了いたしました。

これにて散会いたします。

明日は本会議を9時30分より開議いたしますので、御参集ください。

御苦労さまでございました。

午後1時55分 散会



○議長（大西洋平） それでは、産業建設常任委員長からの報告についての質疑を行います。

質疑はありませんか。

3番。

◆3番（桑野和夫） 執行部にお聞きしますが、きょうの新聞報道を見ますと、浅口市として西南水道企業団に正式に分水について申し入れをするという報道がありましたが、この委員長報告を見るとそういう報告がされていません。そのあたりの認識について、副市長としてどういう認識されているのかお聞きをします。

○議長（大西洋平） 大室副市長。

◎副市長（大室照明） この問題につきましては、一昨年8月29日付で、笠岡市に対して可能性の問題として分水について笠岡市の今現在の量について、金光分の5,000トン分についてそちらから分水していただける可能性があるかどうかという事の打診を行っております。それから一年半後、何ら返事もありませんでした。そのことは委員会等でも返事がないということについては、その都度その他等で御報告を申し上げておったところですが、昨日委員会があるということについて私たちも聞いておりません。

その結果についてきょう笠岡市の水道部長のほうからその経過についての御報告があるようでございますが、そういった我々は、まず初段階としての可能性について笠岡市のほうに打診を行っておるというのが現状でございますので、その答えを受けた中でこれから我々執行部として、では具体的にどうするのかということについての協議を始めたい。そういった可能性が、仮に大丈夫ですよという新聞の報道でございますので、そういったことをきょう午後から笠岡市の水道部長からの報告を受けた中で、我々執行部として、では具体的にこれから中身についての協議をぐらいでまず進めていきたい。そういった中で議会の皆さん方の御指導なり考え方というのをお聞きしながらこの問題については進めていきたいというふうに考えております。一年半前からいいますと、かなり時間も経過をしております。その間、そういった中身についての論議をしておりますので、まずこれから始めてまいりたいというふうに考えております。

○議長（大西洋平） よろしいですか。

3番。

○議長（大西洋平） 1番、山田委員長。

◆産業建設常任委員会委員長（山田勝則） 委員会のほうに途中経過等々報告されたことは今までございません。私どもとしても、けさの新聞を見て初めてどういうことかというのが突然わいたようなことですので、見解を求められてもまだ一切審議をいたしておりませんので、これからこの点については委員会のほうでお聞きすることがあればお聞きしていこうと思います。

今、副市長のほうから委員会のほうへ御報告ということでありまして、誤解があっては困りますので言っとりますけど、この件につきましても、途中経過につきましても、委員



会のほうに報告があったということはありません。

○議長（大西洋平） 3番。

◆3番（桑野和夫） この水道問題、大変重要な問題でありますから、産建委員会で十分審議をしていただくように要望します。

以上です。